

# 「地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト」

「法定協議会を活用できる地域共創コーディネーター育成事業」  
国土交通省2023年度地域交通共創モデル実証プロジェクト採択

緊急を要する地域公共交通の現場での改善には、「ヒョーロンカ」は不要です！

- 全国の大学・高専でバラバラだった公共交通に関する取組を組織化し、「現場」で地域公共交通改善に取り組める人材を養成する体制をつくります
- 地域公共交通の世界は誤った理解・認識に満ち溢れています。それらを一掃します
- 実際に現場で取り組んでいる方、取り組みたい方に広く参加できるようにします
- 現場体験を積む機会に参加し、実戦で活躍できる人材になっていただきます
- そして、今年2023年の地域交通法改正でさらに権限や対象範囲が増大した「法定協議会」を有効に活用して地域公共交通改善を進める方法を学んでいただきます
- 受講生や講師間のコミュニケーションの場を提供し、全国での横連携を生み出し、みんなでレベルを高めていきます

## ●メンバー（順不同）

### <講師・プロジェクト運営>

加藤博和(名古屋大学) <代表>  
板谷和也(流通経済大学)  
井原雄人(早稲田大学)  
猪井博登(富山大学)  
大井尚司(大分大学)  
岡村敏之(東洋大学)  
神田佑亮(呉高専)  
樋口恵一(大同大学)  
日野 智(秋田大学)  
福本雅之(名古屋大学)  
松原光也(名古屋大学)  
宮崎耕輔(香川高専)  
吉田樹(福島大学)

### <企画検討サポート>

伊藤昌毅(東京大学)  
水谷香織(名古屋学院大学)

## ●今年度の流れ（講座の試行実施）

### 告知

- 受講生募集（9月20日開始）
- キックオフイベント（10月6日<金>1600開催）

試行  
実施  
10～  
1月

### ①リレー レクチャー

基礎を学べる講義

- 公共交通に関する基本的事項（制度、技術、経営、効果等）
- 協議会の意義、コーディネーター活用方法
- 他分野との連携手法

### ③ディスカッションサロン

講師と直接話ができる

- 講師・受講者同士のネットワークの構築
- 新しい問題提起
- スタートアップとのマッチング

### ②フィールド スタディ

現場の実情を体感する

講師が参画する地域公共交通会議・協議会（2022年度実績81地域）

- 実際の協議会を傍聴し体感（場合によっては手伝い参加も可能）
- 対応する現場の交通も見学
- 課題抽出→事業提案

詳細はこちらのURLで

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kyoso.htm>

内容  
検討  
(次年度へ)

- 試行結果を踏まえ、次年度の内容へ反映  
本プログラムは次年度に本格実施予定  
<エキスパートレクチャー（実践科目）を追加>

- 今年度は試行のため無料。お勉強でなく現場で活動することを目指すならだれでも参加可能
- 対面を基本としますが、オンラインでも参加可能(フィールドスタディ除く)
- 効果測定・レポート提出で理解度を確認したうえで受講証明書を発行(CPD認定も予定)

さあ、私たちとともに、現場で地域公共交通を改善し、地域を救いましょう！